

● 子ども・子育て支援の事業展開

量の見込み(利用ニーズ)と確保方策(供給量)

(1) 教育・保育の量の見込みと確保方策

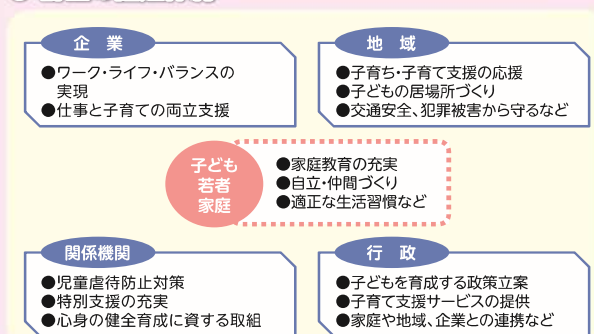
	1号認定		2号認定		3号認定	
	2020年度	2024年度	2020年度	2024年度	2020年度	2024年度
利用ニーズ	50人	50人	925人	845人	0歳 1・2歳 150人 510人	0歳 1・2歳 150人 470人
供給量	70人	70人	1070人	990人	0歳 1・2歳 170人 510人	0歳 1・2歳 170人 470人

(2) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

	2020年度		2024年度	
	利用ニーズ	供給量	利用ニーズ	供給量
利用者支援事業※1	1か所	1か所	1か所	1か所
地域子育て支援拠点事業※2	18,000人	22,500人	18,000人	22,500人
乳児家庭全戸訪問事業	280人	280人	280人	280人
養育支援訪問事業※3	70人	70人	70人	70人
一時預かり事業	4,050人	6,600人	3,750人	6,600人
延長保育事業	650人	650人	650人	650人
病児保育事業	1,700人	3,758人	1,700人	3,758人
妊婦一般健康診査	300人	300人	300人	300人
ファミリー・サポート・センター事業	280人	280人	320人	320人
放課後児童クラブ事業	383人	395人	370人	395人

- ※1 利用者支援事業……………子育て家庭や妊産婦の個別のニーズを把握して、適切な施設・事業等を円滑に利用できるよう保健センターで支援する事業
- ※2 地域子育て支援拠点事業…乳幼児と保護者が相互の交流を行う場を提供し、相談・情報提供・助言等の援助を行う子育て支援センター事業
- ※3 養育支援訪問事業……………妊娠期～育児期に特に支援が必要な家庭を訪問し、適切な養育を実施できるよう指導・助言等を行う事業

● 計画の推進体制



● SDGsへの取組

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016(平成28)年から2030(令和12)年までの国際目標です。

本市においては、令和元年8月に2030年のあるべき姿とその実現に向けた2019年度から2021年度までの取組を明らかにした、SDGs未来都市計画「南砺版エコレジック事業」の更なる深化～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～を策定しています。

本計画においても、SDGs未来都市計画とも整合を図りつつ、子どもの最善の利益が実現される社会の実現を目指していきます。本計画で目指す目標のアイコンは次のとおりです。



なんとなつ子すくすくプラン【概要版】
～第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画～

発行日 ● 令和2年3月
発行者 ● 南砺市教育委員会 子ども課
TEL ● 0763-23-2010



概要版

なんとなつ子すくすくプラン

～第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画～

● 計画策定の趣旨

南砺市では、2015(平成27)年3月に「なんとなつ子すくすくプラン(南砺市子ども・子育て支援事業計画)」を策定し、社会情勢の変化や多様化する市民のニーズに応じた子育て支援を進めてきました。このたび、第1期計画期間が終了するにあたり、さらなる少子化対策、子育て支援の充実を図るため、新たに「なんとなつ子すくすくプラン(第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画)」を策定しました。

本計画では、本市に居住する子どもやその家族にとって「子どもの最善の利益」が実現される事業展開を目指します。

● 計画の位置づけ

「子ども・子育て支援法」及び「次世代育成支援対策推進法」に基づく計画として、すべての子どもや子育てに係る様々な施策の方向性や目標を総合的に定めるものです。

南砺市総合計画を上位計画とし、「南砺市教育振興基本計画」「南砺市子ども貧困支援計画」等の関連計画との整合性を図りました。

● 計画期間

本計画の期間は、2020(令和2)年度から2024(令和6)年度までの5年間です。

● 計画の基本理念

基本理念

子どもたちの明るい未来をともに築き
子育ての喜びや夢を分かちあう まちづくり

